

## 令和4年度 第3回十和田市外部評価委員会(会議録)

日 時:令和4年 10月 24日(月)10:00~11:00

場 所:十和田市役所 本館3階 庁議室

出席者:十和田市外部評価委員会委員 12名

(岡野委員長、升澤委員、山端委員、斗澤委員、櫻田委員、石村委員  
石村委員、原委員、館花委員、平館委員、柴崎委員、中沢委員)

### 【①国立公園満喫プロジェクト】

委員長	コロナ禍の中で、なかなか進んでいない部分もあるかと思いますが、重要な事業であり、関係機関と連携して取り組んでいただきたいという評価だと思います。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

### 【②中心市街地活性化】

事務局	(補足説明) その他提言等にある「とわふる」の駐車場、搬入口についてですが、外側の通路は10t車両が通行できる幅員を確保しております。また、車両を乗入れて搬入出できるスペースも整備しています。どう活用するか、周知不足の面もあるかと思しますので、それらの取組を進めていくよう担当課と共有したいと考えています。
委員	担当課の内部評価や委員の外部評価によると、改善していただきたいという思いが出ていると思います。中心市街地活性化基本計画において、どのように市街地の活性化をするのかといった方向性や言葉が出てこない。委員の皆さんから「トワーレ」や「とわふる」の活用、商店街の皆さんと協議してやってほしいといった意見がありますが、市側は中心市街地活性化をどのように考えているのか、補足説明があれば聞きたいと思します。
担当課	計画期間と計画の方向性ということでよかったですでしょうか。
委員	どういう十和田市を作りたいのか、将来的にこのような十和田市にしたいというのが見えないということです。市として、将来的にこうだというものをはっきりと示していただきたい。

担当課	<p>後日、回答を差しあげたいと思います。</p> <p><b>(回答)</b></p> <p>中心市街地活性化事業は、「人を集め、民間も行政も一緒になってまちづくりを進める」ことを第一義としております。</p> <p>具体的には、現代アートをコンセプトとしたまちづくりを推進し、近代建築などの要素を活用しながら、周辺観光地とは異なる魅力を提供し、市民や来街者が回遊・滞在できる・したくなる市街地の形成、また、日用品の販売をはじめとして、商業・医療・福祉・教育・文化など、生活を支える様々なサービスを提供する機能・施設等をコンパクトな範囲（中心市街地）に揃え、居住地として魅力が高い市街地の形成を目指しており、これらの取組により、中心市街地における来街・回遊の促進、新たな店舗の出店や居住人口の増加につなげ、にぎわいを創出したいと考えています。</p>
委員長	<p>どのようなまちづくりを目指していくのか、方向性を示しながら事業を進めていただきたいとのことだと思います。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」に提言を追加することとし、委員会としての事業評価を終了</p>

【③妊娠期からの切れ目のない子育て支援】	
委員	<p>子育て期はいつまでの期間ですか。</p>
担当課	<p>担当課の直接的な関わりは、乳幼児期から学校に入る前までですが、児童福祉法の対象年齢である18歳までについても、関係機関と連携して支援していきたいと考えています。</p>
委員	<p>乳幼児期から18歳まで、一人も取り残すことのないよう支援をお願いしたいと思います。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」に提言を追加することとし、委員会としての事業評価を終了</p>

【④健康診査の推進】	
委員長	<p>短命県を返上する方法の一つとして、早い段階での受診は早期発見・早期治療のため大切な部分だと思いますので、いかにPRして広めていくかが重要だと思います。ご提言にありますように、市だけではなく企業とも連携して進めていただきたいとのことだと思います。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了</p>

【⑤緊急通報体制等整備】	
委員長	担当課による内部評価も「内容を改善して継続」であり、委員の評価も「内容を改善して継続」が多いことから、改善すべきと思います。救急情報キットは配布することで救急隊員も迅速に対応できますが、周知が足りていないのでPRに努めていただきたい。ロボットについては、再度検討しながら事業を進めていただきたいとのことだと思います。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

【⑥移住・交流への支援体制の強化】	
委員	取り組みの内容は県内他市町村と変わらないのに、市への移住者が多いのはなぜだと思いますか。
担当課	自然や食といった魅力が大きいものと思っています。十和田湖・奥入瀬溪流はもちろん、B-1のバラ焼きや農作物、また、市街地が平坦地、県内でも雪がそれほど多くないので住みやすいといった評価をいただいています。これら評価されている点を伸ばしていけば移住者も増えていくのではと思っています。
委員	データとして残していかないと、市民に見えない。移住者の方々にアンケートした結果をデータにして、しっかりとみなさんにお知らせをしていただきたい。
担当課	データを活用した周知方法も検討したいと思っています。
委員長	移住された方にご意見を聞いて、十和田市のいいところを明確にしていくことで、アピールポイントとして使えるので、こういった点で移住を決めたのかアンケート等を実施し、それを参考にさらに事業を進めていただければという提言だと思います。
★最終評価	「事業評価集計表」に提言を追加することとし、委員会としての事業評価を終了

【⑦公共交通の維持・確保】	
委員	改善内容に「利用者へのアンケート調査を実施する」とありますが、公共交通を利用しない人へのアンケートは行わないのですか。市民目線で市民のみなさんがどう思っているかというアンケートを取らないと、今後、交通をどうすればいいかという道が開きにくいのではないかと感じています。アンケートの調査方法をお知らせください。
担当課	アンケートは地域性を考慮しながら、公共交通を利用しているかどうかは関係なく無作為抽出の市民3,500人を対象に実施しています。その他に高校生とその保護者、予約制乗合タクシーの登録者へもアンケートを実施しています。今後、交通事業者から実情や課題を確認するとともに、地域に出向いて意見を聞く機会を設ける予定としています。

委員	<p>前向きな回答だと期待しています。公共交通を利用できない方からは「なぜ自分には行政の手が届かないのか」といった声があります。限られた財政の中で動いているので、費用対効果を考えなければならないことはわかっていますが、市民の足ということを総合的に判断して、公共交通に取り組んでほしいと思います。</p>
委員長	<p>担当課では市民向けのアンケートを行っているということですので、内部評価の改善内容の記載内容を修正すれば委員の疑問も解決され、見ている方も理解できるかと思います。あえて、提言への追加としなくてもよいかと思いますが、いかがですか。</p>
事務局	<p>内部評価はすでに公表しているため、提言への追加という形でお願いします。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」に提言を追加することとし、委員会としての事業評価を終了</p>